



▲メンバーの皆さん。星を見るのが好きな人が集まっています。

望遠鏡をのぞくと広がる未知の世界 安来星の会

同会では、出張星空観察会のほかに毎月1回、定例の観察会も開いています。

「主に小学生が参加するので、飽きないように工夫しています。実際に星を見るだけでなく、星座の話をしたり、望遠鏡の説明をしたり・・・。しかし、宇宙のことは奥が深

く、大人になってからは、望遠鏡をのぞいて月や木星のスケッチをしていたと言う家嶋さん。「天体愛好家は、観察したものをスケッチしますので、自分も描いていましたが、上手く描けませんでした」と苦笑い。「なので、多くの人に星を見てもらってその魅力を広めようと思いました」と今の活動のきっかけを明かします。

家嶋さんが星に興味を持ったのは、小学生の頃に学校の授業で厚紙とプラスチックレズで作った望遠鏡で土星を見たとき。自分たちが暮らしている地球の外に環（土星の環）を持つ衛星があることに衝撃を受け、天体観察の魅力に引き込まれました。

問い合わせ
安来星の会（家嶋）
☎090-1683-6327

出張星空観察会は、無料で自宅などに望遠鏡を持って行き、解説をしながら観察をします。対象は、個人や少人数のグループです。

すぎてどこまで説明したら良いか迷うこともあります」と今の悩みを口にします。それでも「宇宙や星の話をして望遠鏡をのぞかせると目を輝かせて喜んでくれる子もいます。それがうれしくて続けられていますよ」と活動の源を語ります。

天体観察の楽しさを広め続ける「安来星の会」。これからも多くの人を銀河の旅へとてなします。



▲望遠鏡をセッティングする家嶋さん。自宅で天体観測を楽しむことも多いそうです。

編集後記

▼6月から活動を追わせてもらった安来分教室特集。関係者の皆さんお忙しいところ対応いただき、ありがとうございました。生徒のがんばる様子や地域の人たち、先生方の思いが伝わる内容になったでしょう。いつも編集後記のレビューをくれるYくん。中身も読んで感想を教えてくださいね（旬）

▼きのこ狩りの集いが行われた山佐ダム体験交流施設。周辺にキャンプ場を併設しています。コロナ禍の中、人出が多い観光地を避け、9月の連休にはひっきりなしに予約の電話があつたとのこと。近年、冬のソロキャンプも人気を集めています。静かであったりとした時間を過ごすのもいいかもしれませんね（一）

安来市の人口と世帯数 R2.10.31現在

人口合計／ 37,854人
（男:18,190人 女:19,664人）
世帯数／14,389世帯

